

# 小松神社の村祭り

A: 1月1日 歳旦祭(さいたんさい)

【新年祈願祭(しんねんきがんさい)】【お宮さんの初詣(はつもうで)】とも言う。  
《小松社の正月祭り》(小松社:祭神=平重盛)

元旦に、小松神社にて行う祭祀(さいし)。

祭神・平重盛公にたいして、今年の五穀豊穰と部落住民の一年の安寧を祈る。

参加者はだれでも出席できるが、一般的には部落内の各住戸の家長が家を代表して参加する。

毎年元旦・早朝6時より施行される。

神主の祝詞奏上後は参加者全員の玉串奉奠を行い、式典終了後は、お神酒と千切りの大根・人参の酢もの(膾・なます)で簡単な直来を行う。

祭祀(さいし):神々や祖先をまつこと。祭典。祭儀。

安寧(あんねい):世の中が平穩無事なこと。



ほんげんぎょう(竹を燃やして爆竹で悪魔祓いをする)



元旦の小松社



元旦の小松社のお供え物



歳旦祭後の直来の様子